

## ディクショナリ（オブジェクト定義情報辞書） にアクセスするために必要な権限

ディクショナリ（オブジェクト定義情報辞書）にアクセスするために必要な権限

初期化パラメータ

`o7_DICTIONARY_ACCESSIBILITY : False`

↑

ディクショナリ保護が有効な状態

この状態の場合は、`UPDATE ANY` 権限、`SELECT ANY` 権限があっても、`SYS` スキーマの所有するオブジェクトにはアクセスできません

**True** に変更して以下の方法で対処します

ディクショナリ保護の有効状態では、以下のロールと権限を必要なユーザーに付与することで、ディクショナリにアクセスすることができるようになる  
(なるべく上段の制限力が強い方法で対応することが、望ましい)

### 【オブジェクト権限】

ディクショナリの個別のオブジェクトに、`SELECT` 権限を許可する

### 【システム権限】

`SELECT ANY` **DICTIONARY**

`SYS` スキーマ内に作成した任意のオブジェクトに対して問合せを許可する

### 【ロール】

`SELECT_CATALOG_ROLE`

すべてのデータ・ディクショナリ・ビューへの `Select` 許可する

`EXECUTE_CATALOG_ROLE`

データ・ディクショナリ内にあるパッケージとプロシージャに対する実行許可する

`DELETE_CATALOG_ROLE`

システム監査表 (`AUD$`、`FGA_LOG$`) からレコードを削除の許可する

### 【システムの全権】

`SYSDBA` 権限

システムの全権にて、すべての操作を許可する

※ ロール、権限の付与

`GRANT` <システム権限名> `to` <ユーザー名> ;

`GRANT` <オブジェクト権限名> `on` <オブジェクト名> `to` <ユーザー名> ;

`GRANT` " <ロール権限> " `TO` ユーザー名 ;

※ ロールを指定する場合だけ、ロール名をダブルクォーテーション (") で囲む必要がある

## ディクショナリ情報の一覧

- 【制御ファイルに関するディクショナリ】
- 【REDO ログ・ファイルに関するディクショナリ】
- 【表領域に関するディクショナリ】
- 【UNDO 表領域に関するディクショナリ】
- 【一時表領域に関するディクショナリ】
- 【ユーザーに関するディクショナリ】
- 【権限に関するディクショナリ】
- 【ロールに関するディクショナリ】
- 【列に関するディクショナリ】
- 【表（テーブル）に関するディクショナリ】
- 【クラスタに関するディクショナリ】
- 【索引構成表に関するディクショナリ】
- 【LOB テーブルに関するディクショナリ】
- 【一時表、外部表に関するディクショナリ】
- 【パーティションに関するディクショナリ】
- 【B-Tree 索引に関するディクショナリ】
- 【索引パーティションに関するディクショナリ】
- 【データベース・リンクに関するディクショナリ】
- 【マテリアライズド・ビューに関するディクショナリ】
- 【順序に関するディクショナリ】
- 【ストアド・プログラムに関するディクショナリ】
- 【トリガーに関するディクショナリ】
- 【制約に関するディクショナリ】

各種ディクショナリの詳細

【制御ファイルに関するディクショナリ】

名前：V\$CONTROLFILE

機能：制御ファイルに関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
STATUS	VARCHAR2(60)	未使用
NAME	VARCHAR2(513)	制御ファイルの物理ファイル名

【REDO ログ・ファイルに関するディクショナリ】

名前：V\$LOG

機能：REDO ログ・ファイルのグループとメンバー構成及びその状態の辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
GROUP	NUMBER	グループ番号
SEQUENCE#	NUMBER	ログ順序番号（使用毎にカウントアップ）
BYTES	NUMBER	ファイルサイズ
MEMBERS	NUMBER	グループ内のメンバー数
ARCHIVED	VARCHAR2(3)	アーカイブされたか否か
STATUS	VARCHAR2(16)	UNUSED:一度も使用されたことがない CURRENT:現在、使用中 ACTIVE:アクティブだがカレントではない INACTIVE:インスタンス・リカバリには必要ない

名前：V\$LOGFILE

機能：物理ファイルとその状態に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
GROUP	NUMBER	グループ番号
STATUS	VARCHAR2(16)	NULL:ファイルが使用中 INVALID:ファイルへのアクセス不可 STALE:ファイルの内容が不完全 DELETED:使用されなくなっている
MEMBER	VARCHAR2(513)	ファイル名（ログ・メンバー名）

【表領域に関するディクショナリ】

名前：DBA\_TABLESPACES

機能：表領域の定義に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
TABLESPACE_NAME	VARCHAR2(30)	表領域名
BLOCK_SIZE	NUMBER	ブロックサイズ
STATUS	VARCHAR2(9)	表領域の状態
CONTENTS	VARCHAR2(9)	表領域形態 (TEMPORARY など)
LOGGING	VARCHAR2(9)	ロギングモード
FORCE_LOGGING	VARCHAR2(3)	強制ロギング設定か否か
EXTENT_MANAGEMENT	VARCHAR2(10)	エクステンツ管理方式
SEGMENT_SPACE _MANAGEMENT	VARCHAR2(6)	空き領域管理方式
DEF_TAB_COMPRESSION	VARCHAR2(8)	表をデフォルトで圧縮か否か

名前：DBA\_DATA\_FILES

機能：データファイルに関する定義に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
FILE_NAME	VARCHAR2(513)	データファイル名
FILE_ID	NUMBER	データファイルの ID 番号
TABLESPACE_NAME	VARCHAR2(30)	表領域名
BYTES	NUMBER	ファイルサイズ (単位：バイト)
BLOCKS	NUMBER	ファイルサイズ (単位：ブロック)
STATUS	VARCHAR2(9)	ファイルの状態
AUTOEXTENSIBLE	VARCHAR2(3)	自動拡張か否か
MAXBYTES	NUMBER	最大ファイルサイズ (単位：バイト)
MAXBLOCKS	NUMBER	最大ファイルサイズ (単位：ブロック)
INCREMENT_BY	NUMBER	自動拡張の増分値
USER_BYTES	NUMBER	ユーザーが利用可能なサイズ (単位：バイト)
USER_MAXBLOCKS	NUMBER	ユーザーが利用可能なサイズ (単位：ブロック)

【UNDO 表領域に関するディクショナリ】

名前：DBA\_ROLLBACK\_SEGS

機能：ロールバック・セグメントに対する定義に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
SEGMENT_NAME	VARCHAR2(30)	ロールバック・セグメント名
OWNER	VARCHAR2(6)	所有者
TABLE_SPACENAME	VARCHAR2(30)	ロールバック・セグメントが格納されている表領域名
INITIAL_EXTENT	NUMBER	INITIAL の値
NEXT_EXTENT	NUMBER	NEXT の値
MIN_EXTENTS	NUMBER	MINEXTENTS の値
MAX_EXTENTS	NUMBER	MAXEXTENTS の値
STATUS	VARCHAR2(16)	状態

名前：DBA\_UNDO\_EXTENTS

機能：UNDO セグメントに対する定義に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	CHAR	UNDO 表領域の所有者
SEGMENT_NAME	VARCHAR2(30)	UNDO セグメントの名前
TABLESPACE_NAME	VARCHAR2(30)	UNDO 表領域名
EXTENT_ID	NUMBER	エクステントの ID
FILE_ID	NUMBER	エクステントがあるファイルのファイル識別子番号
BLOCK_ID	NUMBER	エクステントの開始ブロック番号
BYTES	NUMBER	エクステントのサイズ (単位: バイト)
BLOCKS	NUMBER	エクステントのサイズ (単位: ブロック)
RELATIVE_FNO	NUMBER	セグメント・ヘッダーが設定されているファイルの相対番号
COMMENT_JTIME	NUMBER	エクステントの UNDO のコミットタイム (ユリウス時間)
COMMENT_WTIME	VARCHAR2(20)	エクステントの UNDO のコミットタイム (実時間)
STATUS	VARCHAR2(9)	エクステントの UNDO のトランザクションの状態

**【一時表領域に関するディクショナリ】**

名前：DBA\_TEMP\_FILES

機能：テンポラリー・ファイルを使用した専用一時表領域に関する辞書情報  
構成列情報

列名	データ型	内容
FILE_NAME	VARCHAR2(513)	一時表領域のファイル名
TABLE_SPACENAME	VARCHAR2(30)	表領域名
BYTES	NUMBER	ファイルサイズ (単位：バイト)
BLOCKS	NUMBER	ファイルサイズ (単位：ブロック)
AUTOEXTENSIBLE	VARCHAR2(3)	自動拡張か否か
MAXBYTES	NUMBER	最大拡張可能ファイルサイズ (単位：バイト)
MAXBLOCKS	NUMBER	最大拡張可能ファイルサイズ (単位：ブロック)
INCREMENT_BY	NUMBER	自動拡張の増分値
USER_BYTES	NUMBER	ユーザーが利用可能なサイズ (単位：バイト)
USER_BLOCKS	NUMBER	ユーザーが利用可能なサイズ (単位：ブロック)

【ユーザーに関するディクショナリ】

名前：DBA\_USERS

機能：ユーザーに関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
USERNAME	VARCHAR2(30)	ユーザー名
USER_ID	DATE	ユーザーの ID 番号
PASSWORD	VARCHAR2(30)	パスワード
ACCOUNT_STATUS	VARCHAR2(32)	アカウントのロック状態
LOCK_DATE	DATE	ロックされた日付
EXPIRY_DATE	DATE	アカウントの時間切れ日付
DEFAULT_TABLESPACE	VARCHAR2(30)	テーブル作成時のデフォルト表領域名
TEMPORARY_TABLESPACE	VARCHAR2(30)	一時表領域使用時のデフォルト一時表領域名
CREATED	DATE	ユーザーの作成された日
PROFILE	VARCHAR2(30)	適用されるリソース・プロファイル名

名前：DBA\_TS\_QUOTA

機能：QUOTA（使用制限値設定）に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
TABLESPACE_NAME	VARCHAR2(30)	割当先の表領域名
USERNAME	VARCHAR2(30)	リソースの権利を持つユーザー名
BYTES	NUMBER	ユーザーに割当てられたバイト数
MAX_BYTES	NUMBER	ユーザーの割当て制限（単位：バイト） -1 は、上限なし
BLOCKS	NUMBER	ユーザーに割当てられた Oracle のブロック数
MAX_BLOCKS	NUMBER	ユーザーの割当て制限（単位：ブロック） -1 は、上限なし
DROPPED	VARCHAR2(3)	表領域が削除されたかどうか

【権限に関するディクショナリ】

名前：SESSION\_PRIVS

機能：そのセクションで現在使用可能なシステム権限に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
PRIVILEGE	VARCHAR2(40)	システム権限名

名前：ALL\_COL\_PRIVS、DBA\_COL\_PRIVS、USER\_COL\_PRIVS

機能：すべてのオブジェクト権限の列に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	オブジェクトの所有者 但し、ALL_COL_PRIVS では表示されない
GRANTOR	VARCHAR2(30)	権限を付与したユーザー名
GRANTEE	VARCHAR2(30)	アクセス権が付与されるユーザー名
TABLE_SCHEMA	VARCHAR2(30)	オブジェクトのスキーマ ALL_COL_PRIVS でのみ表示される
TABLE_NAME	VARCHAR2(30)	オブジェクト名
COLUMN_NAME	VARCHAR2(30)	列名
PRIVILEGE	VARCHAR2(40)	列についての権限
GRANTABLE	VARCHAR2(3)	権限が ADMIN OPTION で付与の場合 YES

名前：ALL\_TAB\_PRIVS、DBA\_TAB\_PRIVS、DBA\_TAB\_PRIVS

機能：すべてのオブジェクト権限に関する辞書情報（列を除く）

構成列情報

列名	データ型	内容
GRANTOR	VARCHAR2(30)	権限を付与したユーザー名
GRANTEE	VARCHAR2(30)	アクセス権が付与されるユーザー名
OWNER	VARCHAR2(30)	オブジェクトの所有者
TABLE_SCHEMA	VARCHAR2(30)	オブジェクトのスキーマ
TABLE_NAME	VARCHAR2(30)	オブジェクト名
PRIVILEGE	VARCHAR2(40)	オブジェクトについての権限
GRANTABLE	VARCHAR2(3)	権限が ADMIN OPTION で付与の場合 YES

名前：DBA\_SYS\_PRIVS、USER\_SYS\_PRIVS

機能：ユーザーとロールに付与されたシステム権限に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
GRANTEE	VARCHAR2(30)	アクセス権が付与されるユーザー名
USERNAME	VARCHAR2(30)	現行のユーザー名
PRIVILEGE	VARCHAR2(40)	オブジェクトについての権限
GRANTABLE	VARCHAR2(3)	権限が ADMIN OPTION で付与の場合 YES



【ロールに関するディクショナリ】

名前：SESSION\_ROLES

機能：セッションで使用可能なロールに関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
ROLE	VARCHAR2(30)	ロール名

名前：DBA\_ROLES

機能：データベース内の全ロールに関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
ROLE	VARCHAR2(30)	ロール名
PASSWORD_REQUIRED	VARCHAR2(8)	ロールがパスワードを使用可能にする必要があるかどうか

名前：DBA\_ROLE\_PRIVS

機能：ユーザー／ロールに付与されているロールに関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
GRANTEE	VARCHAR2(30)	権限受領者ユーザー名
GRANTED_ROLE	VARCHAR2(30)	付与されたロール名
ADMIN_OPTION	VARCHAR2(3)	権限が ADMIN OPTION で付与の場合 YES
DEFAULT_ROLE	VARCHAR2(3)	ロールがユーザーのデフォルト・ロールとして指定されたかどうか

名前：ROLE\_ROLE\_PRIVS

機能：ロールに付与されているロールに関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
ROLE	VARCHAR2(30)	ロール名
GRANTED_ROLE	VARCHAR2(30)	付与されたロール名
ADMIN_OPTION	VARCHAR2(3)	権限が ADMIN OPTION で付与の場合 YES

名前：DBA\_SYS\_PRIVS

機能：ユーザー／ロールに付与されているシステム権限に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
GRANTEE	VARCHAR2(30)	アクセス権が付与されるユーザー名
USERNAME	VARCHAR2(30)	現行のユーザー名
PRIVILEGE	VARCHAR2(40)	オブジェクトについての権限
GRANTABLE	VARCHAR2(3)	権限が ADMIN OPTION で付与の場合 YES

名前 : ROLE\_SYS\_PRIVS

機能 : ロールに付与されているシステム権限に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
ROLE	VARCHAR2(30)	ロール名
PRIVILEGE	VARCHAR2(40)	ロールに付与されたシステム権限
ADMIN_OPTION	VARCHAR2(3)	権限が ADMIN OPTION で付与の場合 YES

名前 : ROLE\_TAB\_PRIVS

機能 : ロールに付与されている表への権限に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
ROLE	VARCHAR2(30)	ロール名
OWNER	VARCHAR2(30)	オブジェクトの所有者
TABLE_NAME	VARCHAR2(30)	オブジェクト名
COLUMN_NAME	VARCHAR2(30)	列名
PRIVILEGE	VARCHAR2(40)	ロールに付与されたシステム権限
GRANTABLE	VARCHAR2(3)	権限が ADMIN OPTION で付与の場合 YES

名前 : DBA\_APPLICATION\_ROLES

機能 : 定義済の認証ポリシー関数を持つすべてのロールに関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
ROLE	VARCHAR2(30)	アプリケーション・ロール名
SCHEMA	VARCHAR2(30)	許可されたパッケージのスキーマ
PACKAGE	VARCHAR2(30)	許可されたパッケージ名

【列に関するディクショナリ】

名前：ALL\_TAB\_COLUMNS

機能：列に関する設定や統計情報に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	オブジェクトの所有者
TABLE_NAME	VARCHAR2(30)	オブジェクトの名前
COLUMN_NAME	VARCHAR2(30)	列の名前
DATA_TYPE	VARCHAR2(106)	列のデータ型
DATA_TYPE_OWNER	VARCHAR2(30)	列のデータ型の所有者
DATA_LENGTH	NUMBER	列のバイト単位の長さ
DATA_SCALE	NUMBER	数値の小数点以下の桁数
NULLABLE	VARCHAR2(1)	NULL 設定可能か
DATA_DEFAULT	LONG	列のデフォルト値
NUM_NULLS	NUMBER	列内の NULL の個数
LAST_ANALYZED	DATE	列の統計情報が取得された最終日
CHAR_LENGTH	NUMBER	列の長さ

【表（テーブル）に関するディクショナリ】

名前：ALL\_TABLES、DBA\_TABLES、USER\_TABLES

機能：表に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	表の所有者
TABLE_NAME	VARCHAR2(30)	表名
TABLESPACE_NAME	VARCHAR2(30)	表が設定してある表領域の名前
CLUSTER_NAME	VARCHAR2(30)	表がクラスタに属している場合は、そのクラスタ名
PCT_FREE	NUMBER	ブロック内の空き領域の最小割合
PCT_USED	NUMBER	ブロック内の使用済領域の最小割合
INI_TRANS	NUMBER	トランザクション・スロットの初期数
MAX_TRANS	NUMBER	トランザクション・スロット最大数
INITIAL_EXTENT	NUMBER	初期エクステントのサイズ(単位:バイト)
NEXT_EXTENT	NUMBER	セカンダリ・エクステントのサイズ(単位:バイト)
MIN_EXTENTS	NUMBER	セグメント内で使用するエクステントの最小数
MAX_EXTENTS	NUMBER	セグメント内で使用するエクステントの最大数
PCT_INCREASE	NUMBER	エクステント・サイズの増加の割合
FREELISTS	NUMBER	このセグメントに割当てられたプロセス空きリストの数
FREELISTS_GROUPS	NUMBER	このセグメントに割当てられたプロセス空きリスト・グループ数
LOGGING	VARCHAR2(3)	ロギング属性
BACKED_UP	VARCHAR2(1)	前回の変更以降に表のバックアップが取られているかどうか
NUM_ROWS	NUMBER	表内のレコード件数
BLOCKS	NUMBER	表内の使用済データ・ブロック数
EMPTY_BLOCKS	NUMBER	表内の未使用データ・ブロック数
CHAIN_CNT	NUMBER	ブロック分割のための連鎖が行われた件数
NUM_FREELIST_BLOCKS	NUMBER	空きリストのブロック数
CHCHE	VARCHAR2(5)	クラスタがバッファ・キャッシュにキャッシュされるかどうか
TABLE_LOCK	VARCHAR2(8)	表ロックが使用可能か否か
LAST_ANALYZED	DATE	統計情報が取得された最終日
PARTITIONED	VARCHAR2(3)	この表がパーティション化されているかどうか
IOT_TYPE	VARCHAR2(12)	索引構成表の場合：IOT IOT_OVWFLOW、IOT_MAPPING 索引構成表でないの場合：NULL

NESTED	VARCHAR2(3)	ネストした表であるかどうか
TEMPORARY	VARCHAR2(1)	一時表であるかどうか
DURATION	VARCHAR2(15)	一時表のデータ存続期間 SYS\$SESSION:セッション終了まで有効 SYS\$TRANSACTION:トランザクション内で有効
COMPRESSION	VARCHAR2(8)	表圧縮が可能か
DROPPED	VARCHAR2(3)	表が削除されて、ごみ箱内にあるのか
READ_ONLY	VARCHAR2(3)	読取り専用表なのか

名前 : DBA\_TAB\_COMMENTS

機能 : 表に付けられたコメントを参照できます

構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	表の所有者
TABLE_NAME	VARCHAR2(30)	表名
TABLE_TYPE	VARCHAR2(11)	オブジェクトのタイプ (表/ビュー/クラス タ)
COMMENTS	VARCHAR2(4000)	表のコメント

名前 : DBA\_UNUSED\_COL\_TABS

機能 : データベース内のすべての未使用列を含む表の辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	表の所有者
TABLE_NAME	VARCHAR2(30)	表名
COUNT	NUMBER	未使用の列数

【クラスタに関するディクショナリ】

名前：DBA\_CLUSTERS、ALL\_CLUSTERS、USER\_CLUSTERS

機能：クラスタ定義に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	クラスタの所有者
CLUSTER_NAME	VARCHAR2(30)	クラスタ名
TABLESPACE_NAME	VARCHAR2(30)	クラスタが設定してある表領域の名前
PCT_FREE	NUMBER	ブロック内の空き領域の最小割合
PCT_USED	NUMBER	ブロック内の使用済領域の最小割合
KEY_SIZE	NUMBER	クラスタ・キーに、それに対応付けられた行を加えた推定サイズ
INI_TRANS	NUMBER	トランザクション・スロットの初期数
MAX_TRANS	NUMBER	トランザクション・スロット最大数
INITIAL_EXTENT	NUMBER	初期エクステントのサイズ(単位:バイト)
NEXT_EXTENT	NUMBER	セカンダリ・エクステントのサイズ(単位:バイト)
MIN_EXTENTS	NUMBER	セグメント内で使用するエクステントの最小数
MAX_EXTENTS	NUMBER	セグメント内で使用するエクステントの最大数
PCT_INCREASE	NUMBER	エクステント・サイズの増加の割合
FREELISTS	NUMBER	このセグメントに割当てられたプロセス空きリストの数
FREELISTS_GROUPS	NUMBER	このセグメントに割当てられたプロセス空きリスト・グループ数
AVG_BLOCKS_PER_KEY	NUMBER	表内のブロック数をクラスタ・キーの数で割った数
CLUSTER_TYPE	VARCHAR2(5)	クラスタ・タイプ: B*ツリー索引 or ハッシュ
FUNCTION	VARCHAR2(15)	ハッシュ・クラスタの場合はハッシュ関数
HASHKEYS	NUMBER	ハッシュ・クラスタの場合は、ハッシュ・キー(ハッシュ・バケット)の数
DEGREE	VARCHAR2(10)	クラスタをスキャンするための1インスタンス当りのスレッド数
INSTANCES	VARCHAR2(10)	クラスタがいくつかのインスタンスにまたがってスキャンされる場合のインスタンスの数
CHCHE	VARCHAR2(5)	クラスタがバッファ・キャッシュにキャッシュされるかどうか
BUFFER_POOL	VARCHAR2(7)	クラスタに対するデフォルトのバッファ・プール
SINGLE_TABLES	VARCHAR2(5)	単一表かクラスタか
DEPENDENCIES	VARCHAR2(8)	行レベルの依存性が使用可能かどうか

名前 : DBA\_CLU\_COLUMNS、USER\_CLU\_COLUMNS

機能 : クラスタの項目 (列) に関する設定や統計情報に関する辞書情報  
構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	オブジェクトの所有者
TABLE_NAME	VARCHAR2(30)	オブジェクトの名前
COLUMN_NAME	VARCHAR2(30)	列の名前
DATA_TYPE	VARCHAR2(106)	列のデータ型
DATA_TYPE_OWNER	VARCHAR2(30)	列のデータ型の所有者
DATA_LENGTH	NUMBER	列のバイト単位の長さ
DATA_SCALE	NUMBER	数値の小数点以下の桁数
NULLABLE	VARCHAR2(1)	NULL 設定可能か
DATA_DEFAULT	LONG	列のデフォルト値
NUM_NULLS	NUMBER	列内の NULL の個数
LAST_ANALYZED	DATE	列の統計情報が取得された最終日
CHAR_LENGTH	NUMBER	列の長さ

名前 : DBA\_CLUSTER\_HASH\_EXPRESSIONS、ALL\_CLUSTER\_HASH\_EXPRESSIONS、USER\_CLUSTER\_HASH\_EXPRESSIONS

機能 : ハッシュ関数の定義に関する辞書情報  
構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	クラスタの所有者名
CLUSTER_NAME	VARCHAR2(30)	クラスタ名
HASH_EXPRESSION	LONG	ハッシュ・クラスタのハッシュ関数のテキスト

## 【索引構成表に関するディクショナリ】

通常の表、索引と同じディクショナリが使用できる

表に関するディクショナリ

- ・ ALL\_TABLES
- ・ DBA\_TABLES
- ・ USER\_TABLES
- ・ ALL\_TAB\_COLUMNS
- ・ DBA\_TAB\_COLUMNS
- ・ USER\_TAB\_COLUMNS

索引に関するディクショナリ

- ・ ALL\_INDEXES
- ・ DBA\_INDEXES
- ・ USER\_INDEXES
- ・ ALL\_IND\_COLUMNS
- ・ DBA\_IND\_COLUMNS
- ・ USER\_IND\_COLUMNS

## 【LOB テーブルに関するディクショナリ】

名前：DBA\_LOBS、ALL\_LOBS、USER\_LOBS

機能：LOB に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	LOB を持つオブジェクトの所有者
TABLE_NAME	VARCHAR2(30)	LOB を持つオブジェクトの名前
COLUMN_NAME	VARCHAR2(4000)	LOB 列または LOB 属性の名前
SEGMENT_NAME	VARCHAR2(30)	LOB 記憶域の名前
INDEX_NAME	VARCHAR2(30)	LOB 索引名
CHUNK	NUMBER	割当て または操作の単位としての LOB チャンク・サイズ (単位：バイト)
PCTVERSION	NUMBER	バージョンングに使用される LOB 領域の最大割合
RETENTION	NUMBER	LOB 領域のバージョンングの最大継続時間
FREEPOOLS	NUMBER	この LOB 記憶域の空きプールの数
CACHE	VARCHAR2(10)	バッファ・キャッシュにキャッシュされるかどうか
LOGGING	VARCHAR2(7)	LOB の変更がロギングされるかどうか
IN_ROW	VARCHAR2(3)	ベース行のインラインに、LOB の一部が格納されているかどうか



【一時表、外部表に関するディクショナリ】

名前：ALL\_TABLES、DBA\_TABLES、USER\_TABLES

機能：一時表に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
TEMPORARY	VARCHAR2(1)	Y：一時表 N：通常の表
DURATION	VARCHAR2(15)	NULL SYS\$TRANSACTION： トランザクション中（COMMITまで）有効 SYS\$SESSION：セッション囚虜まで有効

名前：ALL\_EXTERNAL\_TABLES、DBA\_EXTERNAL\_TABLES、  
USER\_EXTERNAL\_TABLES

機能：外部表に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	外部表の所有者
TABLE_NAME	VARCHAR2(30)	外部表の名前
TYPE_OWNER	CHAR(3)	外部表アクセス・ドライバの実装タイプの所有者
TYPE_NAME	VARCHAR2(30)	外部表のアクセス・ドライバの実装タイプの名前
DEFAULT_DIRECTORY_OWNER	CHAR(3)	外部表のデフォルト・ディレクトリの所有者
DEFAULT_DIRECTORY_NAME	VARCHAR2(30)	外部表のデフォルト・ディレクトリ の名前
REJECT_LIMIT	VARCHAR2(40)	外部表の拒否制限
ACCESS_TYPE	VARCHAR2(7)	外部表のアクセス・パラメータのタイプ（CLOB/BLOB）
ACCESS_PARAMETERS	CLOB	外部表のアクセス・パラメータ
PROPERTY	VARCHAR2(10)	外部表のプロパティ REFERENCED 一部の列 ALL 全ての列

【パーティションに関するディクショナリ】

名前：ALL\_PART\_TABLES、DBA\_PART\_TABLES、USER\_PART\_TABLES、

機能：パーティションに関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	パーティション表の所有者
TABLE_NAME	VARCHAR2(30)	パーティション表の名前
PARTITIONING_TYPE	VARCHAR2(7)	パーティション化タイプ RANGE、HASH、SYSTEM、LIST
SUBPARTITIONING_TYPE	VARCHAR2(7)	サブ・パーティション化タイプ RANGE、HASH、SYSTEM、LIST
PARTITION_COUNT	NUMBER	この表のパーティション数
DEF_SUBPARTITION_COUNT	NUMBER	コンポジット・パーティション表の場合、サブ・パーティション化キー内のデフォルト数
PARTITIONING_KEY_COUNT	NUMBER	パーティション化キー内の列数
SUBPARTITIONING_KEY_COUNT	NUMBER	コンポジット・パーティション表の場合、サブ・パーティション化キー内の列数
DEF_TABLESPACE_NAME	VARCHAR2(30)	パーティションの追加時に使用される表領域名
DEF_PCT_FREE	NUMBER	パーティションの追加時に使用されるデフォルトの PCTFREE 値
DEF_PCT_USED	NUMBER	パーティションの追加時に使用されるデフォルトの PCTUSED 値
DEF_INI_TRANS	NUMBER	パーティションの追加時に使用されるデフォルトの INITRANS 値
DEF_MAX_TRANS	NUMBER	パーティションの追加時に使用されるデフォルトの MAXTRANS 値
DEF_INITIAL_EXTENT	VARCHAR2(40)	パーティションの追加時に使用されるデフォルトの INITIAL 値 INITIAL が指定されていない場合は、DEFAULT
DEF_NEXT_EXTENT	VARCHAR2(40)	パーティションの追加時に使用されるデフォルトの NEXT 値 NEXT が指定されていない場合は、DEFAULT
DEF_MIN_EXTENTS	VARCHAR2(40)	パーティションの追加時に使用されるデフォルトの MINEXTENTS 値

		MINEXTENTS が指定されていない場合は、DEFAULT
DEF_MAX_EXTENTS	VARCHAR2(40)	パーティションの追加時に使用されるデフォルトの MAXEXTENTS 値 MAXEXTENTS が指定されていない場合は、DEFAULT
DEF_PCT_INCREASE	VARCHAR2(40)	パーティションの追加時に使用されるデフォルトの PCTINCREASE 値 PCTINCREASE が指定されていない場合は、DEFAULT
DEF_FREELISTS	NUMBER	パーティションの追加時に使用されるデフォルトの FREELISTS 値
DEF_FREELIST_GROUP	NUMBER	パーティションの追加時に使用されるデフォルトの FREELIST GROUP 値
DEF_LOGGING	VARCHAR2(7)	パーティションの追加時に使用されるデフォルトのロギング属性 NONE、YES、NO
DEF_COMPRESSION	VARCHAR2(8)	パーティションの追加時に使用されるデフォルトの圧縮 NONE、ENABLED、DISABLED
DEF_BUFFER_POOL	VARCHAR2(7)	パーティションの追加時に使用されるデフォルトのバッファ・プール DEFAULT、KEEP、RECYCLE

名前：ALL\_PART\_KEY\_COLUMNS、DBA\_PART\_KEY\_COLUMNS、  
USER\_PART\_KEY\_COLUMNS、

機能：パーティション化キーに関する辞書情報

構成列情報：

列に関する記述なし

名前：ALL\_PART\_INDEXES、DBA\_PART\_INDEXES、USER\_PART\_INDEXES

機能：パーティション索引に関する辞書情報

構成列情報：

列に関する記述なし

名前：ALL\_PART\_LOBS、DBA\_PART\_LOBS、USER\_PART\_LOBS

機能：LOB データパーティションに関する辞書情報

構成列情報：

列に関する記述なし

【B-Tree 索引に関するディクショナリ】

名前：ALL\_INDEXES、DBA\_INDEXES、USER\_INDEXES

機能：索引に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	索引の所有者
INDEX_NAME	VARCHAR2(30)	索引名
INDEX_TYPE	VARCHAR2(27)	索引のタイプ NORMAL、BITMAP、DOMAIN、 FUNCTION-BASED NORMAL、 FUNCTION-BASED BITMAP
TABLE_OWNER	VARCHAR2(30)	索引付きオブジェクトの所有者
TABLE_NAME	VARCHAR2(30)	索引付きオブジェクトの名前
TABLE_TYPE	CHAR(11)	索引付きオブジェクトのタイプ TABLE、CLUSTER など
UNIQUENESS	VARCHAR2(9)	索引がユニークなのか
COMPRESSION	VARCHAR2(8)	索引が圧縮されているのか
PREFIX_LENGTH	NUMBER	圧縮キーの窃盗辞内の列数
TABLESPACE_NAME	VARCHAR2(30)	索引が作成されている表領域名
INITIAL_EXTENT	NUMBER	初期エクステントのサイズ
NEXT_EXTENT	NUMBER	セカンダリ・エクステントのサイズ
MIN_EXTENTS	NUMBER	セグメント内で使用できるエクステントの最小数
MAX_EXTENTS	NUMBER	セグメント内で使用できるエクステントの最大数
PCT_INCREASE	NUMBER	エクステント・サイズの増加の割合
PCT_THRESHOLD	NUMBER	1 索引エントリ当りの許容ブロック領域のしきい値 (%)
INCLUDE_COLUMN	NUMBER	索引構成表の主キー索引に含まれる最後の列の列 ID
PCT_FREE	NUMBER	ブロック内の空き領域の最小割合
BLEVEL	NUMBER	B*ツリー・レベルにおけるルート・ブロックからリーフ・ブロックまでの深さ
LEAF_BLOCKS	NUMBER	索引内のリーフ・ブロックの数
DISTINCT_KEYS	NUMBER	別個に索引付けされた値の数 (同一キーの場合は、1 個)
STATUS	VARCHAR2(8)	非索引パーティションが、VALID か UNUSABLE か
NUM_ROWS	NUMBER	索引内の行数
SAMPLE_SIZE	NUMBER	索引の分析に使用された時のサンプル数
LAST_ANALYZED	DATE	統計情報が分析された最終日
PARTITIONED	VARCHAR2(3)	索引がパーティション化されているか

TEMPORARY	VARCHAR2(1)	索引が一時表にあるかどうか
GENERATED	VARCHAR2(1)	索引名がシステムによって自動生成されたか
BUFFER_POOL	VARCHAR2(7)	索引のブロックに対して使用されるデフォルト・バッファ・プールの名前
DROPPED	VARCHAR2(3)	索引が「ごみ箱の中」状態か
VISIBILITY	VARCHAR2(9)	索引が可視かどうか

名前 : ALL\_IND\_COLUMNS、DBA\_IND\_COLUMNS、USER\_IND\_COLUMNS

機能 : 索引に定義してある列についての辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
INDEX_OWNER	VARCHAR2(30)	索引の所有者
INDEX_NAME	VARCHAR2(30)	索引名
TABLE_OWNER	VARCHAR2(30)	表名またはクラスタの所有者
TABLE_NAME	VARCHAR2(30)	表名またはクラスタ名
COLUMN_NAME	VARCHAR2(4000)	オブジェクト型列の列名または属性
COLUMN_POSITION	NUMBER	索引内の列または属性の位置
COLUMN_LENGTH	NUMBER	索引付きの列の長さ
CHAR_LENGTH	NUMBER	列のコード・ポイントの最大長
DESCEND	VARCHAR2(4)	列が昇順にソートされているか ASC、DESC

【索引パーティションに関するディクショナリ】

名前: ALL\_PART\_INDEXES、DBA\_PART\_INDEXES、USER\_PART\_INDEXES

機能: パーティション化された索引に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	パーティション索引の所有者
INDEX_NAME	VARCHAR2(30)	パーティション索引の名前
TABLE_NAME	VARCHAR2(30)	パーティション表の名前
PARTITIONING_TYPE	VARCHAR2(7)	パーティションのタイプ: RANGE、HASH、SYSTEM、UNKNOWN
SUBPARTITIONING_TYPE	VARCHAR2(7)	サブ・パーティションのタイプ: HASH、SYSTEM、NONE
PARTITION_COUNT	NUMBER	この索引のパーティション数
DEF_SUBPARTITION_COUNT	NUMBER	コンポジット・パーティション索引の場合、サブ・パーティションのデフォルト数
PARTITIONING_KEY_COUNT	NUMBER	パーティション化キー内の列数
SUBPARTITIONING_KEY_COUNT	NUMBER	コンポジット・パーティション索引の場合、サブ・パーティション化キー内の列数
LOCALITY	VARCHAR2(6)	このパーティション索引が、Local なのか、Global なのか
ALIGNMENT	VARCHAR2(12)	このパーティション索引が、PREFIXED なのか
DEF_TABLESPACE_NAME	VARCHAR2(30)	ローカル索引の場合、表パーティションの追加または分割時に使用されるデフォルトの表領域名

【データベース・リンクに関するディクショナリ】

名前：ALL\_DB\_LINKS

機能：データベース・リンクに関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	データベース・リンクの所有者
DB_LINK	VARCHAR2(128)	データベース・リンクの名前
USERNAME	VARCHAR2(30)	ログイン時のユーザー名
HOST	VARCHAR2(2000)	Oracle Net Services の接続文字列
CREATED	DATE	データベース・リンクの作成日時

【マテリアライズド・ビューに関するディクショナリ】

名前：ALL\_MVIEWS

機能：マテリアライズド・ビューに関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	マテリアライズド・ビューの所有者
MVIEW_NAME	VARCHAR2(30)	マテリアライズド・ビューの名前
CONTAINER_NAME	VARCHAR2(30)	内部表の名前
QUERY	LONG	マテリアライズド・ビューを定義する問合せ
QUERY_LEN	NUMBER(38)	マテリアライズド・ビューを定義する問合せの長さ
UPDATABLE	VARCHAR2(1)	更新可能かどうか
REWRITE_ENABLE	VARCHAR2(1)	リライト・クエリーが更新可能か
REFRESH_MODE	VARCHAR2(6)	リフレッシュのタイミング DEMAND：手動 or スケジュール COMMIT：即時 NEVER：リフレッシュしない
REFRESH_METHOD	VARCHAR2(8)	リフレッシュのモード COMPLETE：完全リフレッシュ FORCE：高速リフレッシュ可の場合は、高速、そうでない場合は完全 FAST：高速リフレッシュ NEVER：リフレッシュされない
BUILD_MODE	VARCHAR2(9)	初期作成時のデータの移入 IMMEDIATE：作成時に完全リフレッシュされた DEFERRED：作成時に完全リフレッシュされていない PREBUILT：既存表からマテリアライズドビューを作成
FAST_REFRESHABLE	VARCHAR2(18)	高速リフレッシュ可能かどうか NO：不可 DIRLOAD：ダイレクトロードの時のみ可 DML：DML操作のみ可 DIRLOAD_DML：ダイレクトロードとDML操作の際に可 DIRLOAD_LIMITEDDDL：ダイレクトロードとDML操作のサブセットの際に可
LAST_REFRESH_TYPE	VARCHAR2(8)	最新のリフレッシュのモード COMPLETE：完全リフレッシュ FAST：高速リフレッシュ NA：リフレッシュされたことがない



LAST_REFRESH_DATE	DATE	最新のリフレッシュの日付
-------------------	------	--------------

マテリアライズド・ビューには、これ以外にも以下のディクショナリがある

ディクショナリ名	辞書情報の内容
ALL_MVIE_AGGREGATES	集計タイプのマテリアライズド・ビューの <b>SELECT</b> リストにある集計関数の情報
ALL_MVIE_ANALYZE	マテリアライズド・ビュー各種統計情報 リフレッシュに要した時間などが分かる
ALL_MVIE_COMMENTS	マテリアライズド・ビューにつけたコメント 情報
ALL_MVIE_DETAIL_RELATIONS	マテリアライズド・ビューと実際のデータを格納している表などのオブジェクトとの関係
ALL_MVIE_JOINS	マテリアライズド・ビュー内の結合に関する情報
ALL_MVIE_KEYS	マテリアライズド・ビューの <b>SELECT</b> リストの情報
ALL_MVIE_LOGS	マテリアライズド・ビュー・ログに関する情報
ALL_MVIE_REFRESH_TIMES	リフレッシュ時刻に関する情報

【順序に関するディクショナリ】

名前：ALL\_SEQUENCE、DBA\_SEQUENCE、USER\_SEQUENCE

機能：順序に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
SEQUENCE_OWNER		順序の所有者の名前
SEQUENCE_NAME		順序名
MIN_VALUE		順序の最小値
MAX_VALUE		順序の最大値
INCREMENT_BY		順序が増やされる時の増分値
CYCLE_FLAG		限度に達した時に、順序の繰返しを実行するかどうか
ORDER_FLAG		順序番号が順番に生成されるかどうか
CACHE_SIZE		キャッシュする順序番号の数
LAST_NUMBER		最後にディスクに書込まれる順序番号

【ストアド・プログラムに関するディクショナリ】

名前：ALL\_PROCEDURES

機能：ストアド・プログラムに関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	プロシージャの所有者
OBJECT_NAME	VARCHAR2(30)	オブジェクトの名前
PROCEDURE_NAME	VARCHAR2(30)	プロシージャの名前
AGGREGATE	VARCHAR2(3)	プロシージャが集計関数かどうか
PIPELINED	VARCHAR2(3)	プロシージャがパイプライン化された表のファンクションかどうか
IMPLTYPEOWNER	VARCHAR2(30)	実装タイプがある場合は、その所有者名
IMPLTYPENAME	VARCHAR2(30)	実装タイプがある場合は、その名前
PARALLEL	VARCHAR2(3)	プロシージャ

以下のように select を行うと、各ストアド・プログラムの状態が確認できます

```
SELECT OBJECT_NAME, OBJECT_TYPE, STATUS
FROM ALL_OBJECTS
WHERE OBJECT_TYPE IN ('PROCEDURE', 'FUNCTION', 'PACKAGE')
```

【トリガーに関するディクショナリ】

名前：ALL\_TRIGGERS、DBA\_TRIGGERS、USER\_TRIGGERS

機能：トリガーに関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	トリガーの所有者
TRIGGER_NAME	VARCHAR2(30)	トリガーの名前
TRIGGER_TYPE	VARCHAR2(16)	トリガーを起動するタイミング BEFORE STATEMENT、 BEFORE EACH ROW、 BEFORE EVENT、 AFTER STATEMENT、 AFTER EACH ROW、 AFTER EVENT
TRIGGERING_EVENT	VARCHAR2(216)	DML、DDL、トリガーを起動するデータベースの対象イベント
TABLE_OWNER	VARCHAR2(30)	トリガーが定義される表の所有者
BASE_OBJECT_TYPE	VARCHAR2(16)	トリガーが定義されているオブジェクト：TABLE、VIEW、SCHEMA、DATABASE
TABLE_NAME	VARCHAR2(30)	トリガーのオブジェクト型がTABLEまたはVIEWの場合は、トリガーが定義してある表名/ビュー名を示す
COLUMN_NAME	VARCHAR2(30)	ネストした表の列名
REFERENCING_NAMES	VARCHAR2(87)	トリガー内からODLおよびVIEW列の値を参照するために使用する名前
WHEN_CLAUSE	VARCHAR2(4000)	TRIGGER_BODY が実行されるためには、この条件式がTRUEに評価される必要がある
STATUS	VARCHAR2(8)	トリガーが使用可能かどうか
DESCRIPTION	VARCHAR2(4000)	トリガーの説明
ACTION_TYPE	VARCHAR2(11)	トリガー本体の実行形式 CALL、PL/SQL
TRIGGER_BODY	LONG	起動時にトリガーが実行するステートメント

【制約に関するディクショナリ】

名前：ALL\_CONSTRAINTS

機能：表に定義されている整合性制約に関する辞書情報

構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	制約定義の所有者
CONSTRAINTS _NAME	VARCHAR2(30)	制約定義の名前
CONSTRAINTS _TYPE	VARCHAR2(1)	制約定義のタイプ C：表でのチェック制約 P：主キー U：一意キー R：参照整合性 V：ビューでのチェック・オプション付 O：ビューでの読取り専用
TABLE_NAME	VARCHAR2(30)	制約定義付きの表 (またはビュー) に対応つけられた名前
SERCH_CONDITION	LONG	制約チェックの検索条件のテキスト
R_OWNER	VARCHAR2(30)	参照制約で参照される表の所有者
R_CONSTRAINTS _NAME	VARCHAR2(30)	参照制約の一意制約の定義名
DELETE_RULE	VARCHAR2(9)	参照制約の削除ルール CASCADE、NO ACTION
STATUS	VARCHAR2(8)	制約の規定状態 ENABLED、DISABLED
DEFERRABLE	VARCHAR2(14)	制約が遅延可能かどうか
DEFERRED	VARCHAR2(9)	制約が初期状態から遅延されていたかどうか
VALIDATED	VARCHAR2(13)	データがすべて制約に従っているかどうか
GENERATED	VARCHAR2(14)	制約の名前がユーザーまたはシステムのどちらによって生成されたのか示す
BAD	VARCHAR2(3)	YES の場合：この制約があいまいな方法で世紀をしていることを表す この場合、エラーを回避するために、4桁の西暦を使用する TO_DATE 関数で、制約を記述し直す必要がある
RELY	VARCHAR2(4)	使用可能な制約を規定するかしないか
LAST_CHANGE	DATE	制約が最後に使用可能または使用禁止にされた日付
INDEX_OWNER	VARCHAR2(30)	索引を所有しているユーザーの名前
INDEX_NAME	VARCHAR2(30)	索引の名前
INVALID	VARCHAR2(7)	有効化どうか
VIEW_RELATED	VARCHAR2(14)	制約がビューにより異なるかどうか

名前 : ALL\_CONS\_COLUMNS

機能 : 制約名に関連付けられた辞書情報  
構成列情報

列名	データ型	内容
OWNER	VARCHAR2(30)	制約定義の所有者
CONSTRAINT_NAME	VARCHAR2(30)	制約定義の名前
TABLE_NAME	VARCHAR2(30)	制約定義付きの表の名前
COLUMN_NAME	VARCHAR2(4000)	制約定義内で指定されたオブジェクト型 列の列名または属性名
POSITION	NUMBER	オブジェクトの定義内の列または属性の 元の位置